

議 事 録

公開・一部公開・非公開					部 分 非公開 理 由	
					保存期間	30（ ）・10・5・3・1・随
					作成日	令和3年11月12日
部長	課長	保育係長	子育て支援係長	係員		記録者所属 子育て支援課子育て支援係 職・氏名 主査 宮澤 宏美 印

会議等の名称	令和3年度 第1回子育て支援審議会	開催日時	令和3年11月12日（金） 午後3時～午後5時
		場 所	本庁舎2階全員協議会室
主催者(事務局)	子育て支援課	司会者	司会進行：西澤課長 議事進行：檜原会長
出席者	【委員】小林由美委員、土屋千夏委員、檜原みち代委員、岡田和子委員、小池道子委員、 両角千彬委員、竹内宏恵委員、針山奈々委員、関旦子委員、月岡栄子委員、尾形裕子委員 土屋忠寿委員、五十嵐英美委員 【事務局】 小林秀行健康福祉部長、西澤好美子育て支援課長、武井淳一保健係長、安原武志福祉推進係長、永島美 典福祉援護係長、増田賢一郎青少年教育係長、小林己和子と保育園園長、小林綾保育係長、高野美奈子育 て支援係長、宮澤宏美子育て支援係主査 (傍聴者あり)		
欠席者	吉田周平委員、只木とも子委員、馬場直樹委員		

議 題	(議題)	(配布資料)
	・ 第2期東御市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況について ・ 切れ目ない子育て支援に向けた取り組みについて	別紙会議資料のとおり
決定事項	・ 第2期東御市子ども・子育て支援事業計画進捗状況について承認 ・ 切れ目ない子育て支援に向けた取り組みについて承認	
次回への 検討事項	なし	
次回開催	(日時) 未定	(場所) 未定
討議内容及び 経過	(発言者名)	(発言内容)
委嘱書交付		委嘱書交付（新任委員）
4 会長選出		会長 檜原みち代委員 会長職務代理 五十嵐英美委員
5 協議事項 (1) 第2期 東御市子ど も・子育て支 援事業の進捗 状況について	事務局	資料1 第2期東御市子ども・子育て支援事業の進捗状況について説明
	委員	和児童館建設により駐車場が少なくなるため、増設をお願いしたい。
	事務局	現在和小学校の駐車場が約100台あり、和児童館の近くに駐車場を造ってほしいと地 元から要望がありました。今回完成すれば、約15台が止められる駐車場が確保できる 予定です。 しかし、基本的には学校の駐車場を使用していただきたいと考えており、和保育園 の駐車場、和コミュニティセンターの駐車場、また、グラウンドの使用も考えていま す。
	委員	げんき塾で子どもを引き渡すまでの段取りについて。

討議内容及び経過	(発言者名)	(発言内容)
	事務局	スタッフ一同と共有し、担当も決めて、お子様を引き渡すまでしっかりやっていきたいと思っております。児童館とクラブが連携するよう進めていきます。
(2) 切れ目ない子育て支援に向けた取り組みについて	委員	こんなにも沢山の子育てに関する事業、施策を行っていることを初めて知りました。市民として市の仕事は「支援を求めている人に必要な時に必要な支援を届けてくれること」だと思います。入り口は一番に対応してくれる市役所窓口の方だと思います。 新聞で、東御市民が窓口での対応ミスで申請が受領されなかった、と報道されました。 私も窓口での対応ミスで書類が届かなかったことがありました。 当時担当者とお話した際に、引継ぎの時はこのようなことが起こらないよう対応してほしいとお願いしたのですが、再びこのようなことが起きてしまい、体質が全然変わっていないと感じました。 形式的な計画書、報告書だけでなく、職員の中で周知したか、どう運営されているのか、関わる人が理解をして動いているのか、というのを形にしておいてもらわないと市民として安心できないと思います。
	事務局	職員それぞれが業務を再度確認して、市民の皆さん方が窓口にお越しになったときに間違いなく対応するよう改めて徹底させているところでございます。職員も制度に関する知識を習得しながら、ご迷惑をかけないようにして参りますので、よろしくお願いいたします。
	委員	げんき塾のコロナ禍での開催基準について。
	事務局	前週金曜日のコロナの状況で運営を判断させていただいており、当時はレベル3以下で実施としましたが、その金曜日がレベル4でしたので中止といたしました。ただ、その時の状況をふまえて実施を考えて欲しいということでもありますので、内部で検討をし考えていきたいと思っております。
	委員	妊婦健診、乳児家庭訪問事業について、令和元年度の226人に対して実績188人、これは確実にすべての家庭を訪問したということでしょうか。
	事務局	令和元年度の188人の訪問につきまして、家庭訪問数、年度の切り替わり、3月生まれのお子さんが多かったり、里帰り出産などによって若干ずれが生じますが、基本的に全件コンタクトは取っております。ただ残念ながら、全くコンタクトが取れない場合も年に数件ありまして、個別に家庭訪問等はさせていただいております。
	事務局	資料2 切れ目ない子育て支援に向けた取り組みについて説明
	委員	ヤングケアラーの実態、具体的な方策についてお聞きしたい。
	事務局	現状では福祉援護係で障がい者の関係ケースワーカーが関わっておりますが、その際に家族の状況などを確認しております。来年度切れ目ない子育て支援体制が構築されることで、その中心となって福祉課等の関係課や地域の方とも連携しながら支援に取り組んでいきたいと考えております。
	委員	本当に相談をしたい時にどこに向けていったらいいか、もっとはっきりと子育ての家庭にわかるように情報発信していただけたらと思います。
	委員	現実に子育てを頑張っている皆さんの声を、行政の方たちも色んな所で実際に対話していただいて、組織の中にどうやってその気持ちを汲んでいったらいいかということこれから少し考えて欲しいと思います。
	会長	市の方たちは、色々課題が見えてきたんではなかろうかと思っております。とてもいいものを出してるけれどそれをどう市民に伝えるか、市民がそれをずっと受けるためにはどうしたらいいかということをもっと考えていただければと思っております。それでは協議事項を終了させていただきます。
6 その他	事務局	皆様の大変貴重な意見をいただき、ありがとうございます。子ども家庭教育支援センター（仮称）が令和4年4月にスタートします。令和3年度の各事業の実績がまとまったところで、来年度審議会を開催させていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。
7 閉会	事務局	閉会